

ど や す ず  
導者清水

大石田町大字横山

～平成30年度選定～



## 里の名水・やまがた百選

## ポイント

来迎寺地区内、最上川の河岸段丘に、木立に囲まれた石造りの水場があり、その底から水が湧き出ている。この湧水は、大石田町の登録文化財。この名水のある来迎寺地区は、そば街道沿いにあり、一帯にそば畑が広がっている、そばの在来種「来迎寺そば」の由来ともなっている。



〔管理者〕 来迎寺地区〔保全体〕 来迎寺地区会



## 歴史

江戸初期、この地域は出羽三山参詣の主要な経路にあたり、参詣の導者（どや）と呼ばれる人々が、この清水に立ち寄り身を清め、喉を潤したと伝えられている。昭和初期頃までは地域住民の生活用水として利用されていた。

## アクセス

(北緯 38.575607°、東経 140.385129°)

大石田町内、国道347号線を通り、江戸期に舟運で栄えた船着き場跡を目指す。最上川左岸の川沿いを通る県道381号線に入り、東に道なりに500m程進むと「清水の里 来迎寺」の看板が見えてくる。この看板のあるY字路を左折し250m程進むと左側に「導者清水」の標識。その脇の道を歩いて降りていく。

## 近くの見どころ

- <やまがた百名山> ◆ 大高根山
- <日本一の滝王国山形> ◆ ー
- <やまがた景観物語> ◆ 大石田町虹ヶ丘公園から見渡す最上川

清らかで水量豊かな湧水が県内各地に点在し、大地や人、草木に潤いを与えています。県では地域の人々に育まれてきた優れた湧水を「里の名水・やまがた百選」として選定し、地域の活性化や観光誘客につなげていきます。

また、本県は「自然が豊富で水がいい」強みを活かし、質の高い県産品をお届けすることができます。

